

桜 3.11 プロジェクト実行委員会

議事録

日時：2015年3月31日

14:00～20:00

出席者：清水敏男、藤原純、村上タカシ、堀越野々花、村上真理子

<議題>

- (1) 2014年度後半の反省
- (2) アンケートの集計と結果から
- (3) 2015年度のスケジュールについて
- (4) その他

<内容>

- (1) 2014年度後半の反省

釜小学校：2015年3月10日実施。石巻市立小中学校は、3月11日を「みやぎ鎮魂の日」とし休業日となるため、前日10日の実施はとてもタイムリーな実施だった。500個の風船は初めてで、膨らますのも飛ばすのも予想以上に大変だった。更に、強風と寒さでセレモニーの進め方に課題が残った。全体的にスタッフ不足だった。風船ワークショップでは、全校で取り組む姿勢が見受けられ、しっかりと下書きをして作業に取り組んでいた。当日の花火は、強風で初めて延期となり、学校からの強い要望で23日に実施。芳賀火工の花火も素晴らしく大変好評だった。

太田小学校：2015年3月16日実施。都合で現地への前日入りができなくなり、下見打合せができないままの実施となった。それでも、小規模校で臨機応変な対応が可能な環境で、事前の打ち合わせで不安なく進めることができた。当日スタッフの参加も十分だった。花火は校庭での打ち上げができないと言うことで、近くの田んぼでの打ち上げとなった。離れていることもあり、うまく連携がとれなかった。花火の内容も釜小とは大きく異なり、打ち上げ内容を検討する必要がある。

NPOまつり：2014年10月18・19日代々木公園にて。連日、好天に恵まれ実施。イベント来場者は多数であったが、展示の場所があまり良くなくブースへの立ち寄りには少なかった。せっかくの機会なので、展示以外の手段を考えていきたい。

THE MIRROR GINZA：2014年11月1日実施。参加約30名でほぼ満席。実行委員3氏に加え、関連するこの他の事業担当者の参加もあり内容に幅ができた。

(2) 2014 年度後アンケート集計と結果について

・集計結果

<2014 年度アンケート結果>

<施設長>佐々木祥子 (大浦小)、 土井正弘 (釜小)、 林弘美 (太田小)

| | | | | | | | | |
|--|------------|---|----------|--------|---------|---|------------|------|
| Q1.桜 3.11 プロジェクトについてお聞かせください。 | | | | | | | 平均点 | |
| 3 | 大変興味深い(12) | 0 | 興味深い(10) | 0 | 普通(5) | 0 | どちらでもない(0) | 12 |
| ・今回の実施についてお聞かせください。 | | | | | | | | |
| | | 大変良い(12) | 良い (10) | 普通 (5) | 良くない(0) | | | 平均点 |
| Q2. 事前の打ち合わせは十分でしたか。 | | 1 | 2 | 0 | 0 | | | 10.7 |
| ご意見をお聞かせください。 | | 細かいところで、その都度確認できた。事前に来校していただき打ち合わせができたことは進める上で大変良かった。 | | | | | | |
| Q3. 広報は十分でしたか。 | | 1 | 2 | 0 | 0 | | | 10.7 |
| ご意見をお聞かせください。 | | チラシを配るだけで十分に広報になったが、ポスターがあればもっとよかった。 | | | | | | |
| Q4. 時間設定は適当でしたか。 | | 1 | 2 | 0 | 0 | | | 10.7 |
| ご意見をお聞かせください。 | | WS は、あまり時間がかからず予定より早く終わってしまった。 | | | | | | |
| Q5. 内容は適当でしたか。 | | 3 | 0 | 0 | 0 | | | 12.0 |
| ご意見をお聞かせください。 | | 印象に残るものとして風船や花火はとても良い。作品も残すことにしたので、製作が確かめられてよかった。 | | | | | | |
| Q6. 事業の流れは適当でしたか。 | | 3 | 0 | 0 | 0 | | | 12.0 |
| ご意見をお聞かせください。 | | 準備のおかげで事業の流れはスムーズだった。 | | | | | | |
| Q7.こどもたちの様子はいかがでしたか。 | | 3 | 0 | 0 | 0 | | | 12.0 |
| ご意見をお聞かせください。 | | WS、式典(風船)、花火と記憶に残るものだった。心に残るかどうになった。あとは、学校が今後に生かすような活動・教育につなげていきたい。 | | | | | | |
| Q8.保護者・地域の方々の反応はいかがでしたか。 | | 2 | 1 | 0 | 0 | | | 11.3 |
| ご意見をお聞かせください。 | | 保護者は何人か来ていたが、地域はなかなか集まらない。花火の感動に終わらず、今後 3.11 を風化させないシンボルとして大切にしたい。 | | | | | | |
| Q9. 先生方の反応はいかがでしたか。 | | 2 | 1 | 0 | 0 | | | 11.3 |
| ご意見をお聞かせください。 | | 教育活動に負担なく進められたと思う。 | | | | | | |
| 3: その他ご意見、ご感想をお聞かせください。 | | | | | | | | |
| <p>時期的に学習が終わっている頃なので、授業時間をとって融通がきいた。 子どもたちには、支援して応援してくれる方がいるということを教え、感謝の気持ちで頑張るよう伝えます。 桜ラインがつながって、プロジェクトのねらいが達成されることを願っています。</p> | | | | | | | | |

<職員その他>

| 1：基本情報 | | | | | | | | |
|--|---|------------|-------|---------|------|----------|-----|------|
| 性別 | 男性 | | 11 | | 女性 | | 15 | |
| 年齢 | 10代 | 0 | 20代 | 3 | 30代 | 3 | 40代 | 6 |
| | 50代 | 13 | 60代 | 1 | 70代 | 0 | 80代 | 0 |
| 2：以下の質問事項にお答えください。 | | | | | | | | |
| Q1.桜 3.11 プロジェクトについてお聞かせください。 | | | | | | | | 平均 |
| 大変興味深い(12) | 11 | やや興味深い(10) | 12 | 普通(5) | 3 | 興味がない(0) | 0 | 10.3 |
| ・今回の実施についてお聞かせください。 | | | | | | | | |
| | 大変良い(12) | 良い(10) | 普通(5) | 良くない(0) | 平均 | | | |
| Q2. 内容は適当でしたか。 | 10 | 15 | 1 | 0 | 10.2 | | | |
| ご感想をお聞かせください。 | <p>(大浦) 3.11 を忘れないという点では良い活動。 様々な活動があつて良かった。大変興味深く参加し、心に強く残つたと感じる。 日本人誰もが愛する桜を植樹し、バルーンで花を咲かせ、花火で夜空に花を咲かせる一とても夢のある活動。自分色の花を咲かせる活動も良かった。 (太田) 全校で一つの作品を作り上げるという内容は残るものであり、一生の思い出になる。桜もすぐに花が見られ楽しみ。 よかった。子どもたちは、風船に願いをこめて飛ばしたのが印象的だったようだ。 創作活動があるのがよい。 (釜) 風が強く長く感じた。天候に左右される内容だが、計画的に準備され印象的な内容だった。毛糸のWSは体育館で盛り上がり「とても楽しかった」「またやりたい」の感想が沢山あった。WSも風船もきれいで子どもたちがはしゃいでいた。風船を放す時、皆の気持ちが一つになっている気がして大変良い活動だった。</p> | | | | | | | |
| Q3. 時間は適当でしたか。 | 7 | 12 | 6 | 1 | 9 | | | |
| ご感想をお聞かせください。 | <p>(大浦) 天気も良く良かった。子どもたちが無理のないところで参加できた。 子どもが十分活動を楽しむ事ができ適当だった。 (太田) もっと早く作業に入り描きあげれば、もう少し短時間で済んだ。低学年には話が少し長かった。余裕があった。 (釜) ちょうど良い。もう少し余裕があるとよかった。5年児童からは忙しかったという感想が聞かれた。外での活動が長かった。 高学年はこの時期大変だったのではないかと。強風の寒い日で午前中一杯の活動は5年生には厳しかった。年度末で子どもも教員も忙しく、体調を崩さないか心配な時期だ。</p> | | | | | | | |
| Q4. このプロジェクトの継続についてどう思われますか。 | 11 | 11 | 4 | 0 | 10.1 | | | |
| ご感想をお聞かせください。 | <p>(大浦) 是非続けてください。3.11 を忘れないために是非続けて欲しい。他校にも進めたい。津波で周囲の景観が変わってしまった中、桜の植樹はよいと思った。桜ラインがつながるといいと思う。 学校のその後の活動の様子があつてもいいかと思う。 (太田) 震災を風化させないためによい。 自分たちの作品や植えた桜が代々受けつがれ、よい企画だった。 (釜) 様々な地域で継続していくことに意義がある。子どもが笑顔になれたのがよかった。子どもたちの表情がとても楽しそうだった。気持ちを前向きにするのに役立っていると思うので是非継続を。震災を思い出す子への配慮をすれば良い活動である。</p> | | | | | | | |
| Q5. このプロジェクトは防災減災教育に役立つと思いますか。 | 8 | 8 | 9 | 1 | 8.5 | | | |
| ご感想をお聞かせください。 | <p>(大浦) 今後の学校の活動次第だと思う。防災につながるかは疑問。「忘れないこと」が一番だと思う。考えるきっかけにした。 未来を明るくピンクに染めるので素晴らしい。 3.11 を忘れないための記念碑となった。 (太田) 防災減災とは違う気がする。 (釜) 防災減災の意味では方向性が違うと感じる。防災減災であれば、違った内容も良いと思う。</p> | | | | | | | |
| 3：その他ご意見、ご感想をお聞かせください。 | | | | | | | | |
| <p>(大浦) 準備からありがとうございました。沿岸をピンクに染めるため、頑張ってください。 保護者・地区の皆さんの来校により大変盛り上がり良かった。 (太田) 色々な活動内容にするとさらに広がると思う。 (釜) 段取りが変更になり混乱したが、あのバルーンの感動は何ものにもかえがたいものだった。 遠方からのご協力ありがとうございました。植樹は学校に任せて、贈呈のみで。バルーンは、各教室に配布し記入、教室から自分で持って外に出る等の工夫が必要。式典は室内で行い、バルーンのみ外。バルーンを皆で飛ばすのが印象に残りよかった。子どもたちの喜ぶ姿が多くみられよかった。</p> | | | | | | | | |

結果から、概ね事業は目標を達成していると判断。風船や花火はとても印象に残ることが、アンケートやこどもたちの感想文から分かる。ただし、「防災減災にやくだつ」かの評価があまり得られていないので、今後はこの事業のねらいについて短くてもきちんと時間をとって説明する必要があると考える。また、その際の資料内容（地図の活用）についても検討が必要である。

参加ボランティアからは、参加することで外部から被災地に入り継続的につながることで風化を止めることができる。子供たちや先生たちとの距離が近く、学ぶことも多く、楽しかった。周辺理解は、貴重な時間となったとの感想があった。

(3) 2015年度のスケジュールについて

来年度の JKA 助成金について→スケジュールの確認

6月：石巻市立石巻小学校での実施（決定）

AAPA の総会とシンポジウム

秋～翌年3月で、福島岩手で実施。

(4) その他

来年度の事業実施候補について検討と調査を行う。